

環境経営レポート



FUJIMOTO

2023 年度 第 63期

(対象期間: 2023 年9月1日～ 2024 年8月31日) (Ver.16)
(対象範囲 本社・新原工場 根洗工場)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



作成日: 2024年10月21日
発行日: 2024年10月31日

目 次

目次	2
ごあいさつ 環境経営方針	3
組織の概要 事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績 カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み 環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価、来期の計画 各事業所の取り組み	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無 緊急事態対応の試行・訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示 これまでの環境活動の紹介	11

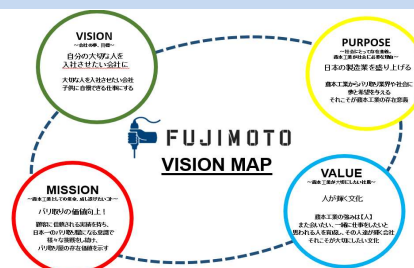


CI活動に皆が参加し、ユニフォームも一新し、新社長を支えるべき使命を皆が持ち、前向きで有り、会社を盛り立てて頂いております。

新生フジモトの顔である新社長は、より良い職場環境を目指すとともに、新規事業にもチャレンジ精神の心で、挑んでいます。また、笑顔が絶えず、活気ある職場環境をいつも心がけています。
まだまだ伸びしろがある会社ですので、これからも社員の皆さんのマンパワーに支えられて、名実共に、業界でトップになる事を大きな目標として、チームワークを大切に日々精進して行きます。(会社の方向性もビジョン・マップに掲げて、魅力あふれる会社を目指します。)

※ ビジョン・マップとは:会社が目指すべき姿を社長が導く4つの柱を示したものです。

- ▶VISION 【自分の大切な人を入社させたい会社】
- ▶PURPOSE 【日本の製造業を盛り上げる】
- ▶MISSION 【本業であるバリ取りの価値向上】
- ▶VALUE 【人が輝く文化】



弊社の目標である『日本一のバリ取り屋』を目指し、社員一丸となり日々精進しております。
『日本一のバリ取り屋』として、お客様から『バリ取りの藤本！』と呼ばれるように、また『弊社とともに一緒に仕事をしたい！』と思われるように、事業活動及び事業運営を行ってまいります。
『日本一のバリ取り屋』として、真摯に環境問題にも向き合い、エコアクション21の取り組みをSDGs、カーボンニュートラルも考慮しつつ、今後もESG投資も含め継続的にを行っています。皆様方には弊社の事業活動を応援して頂き厚く御礼申し上げます。
今後とも、引き続き弊社の事業活動を応援見守っていただきますようお願いいたします。

環境経営方針

私たち藤本工業全社員は輸送機器部品の表面加工『バリ取り、バフ研磨加工等』の生産活動を通じ、環境保全の重要性を認識し、社会・経済・環境の共生した生産活動および継続的環境保全の取り組み、後世の豊かな社会環境実現へ貢献します。

環境保全への行動指針

1. 継続的改善及び汚染予防のため、最善の施策を講じます。
2. 次の事項に関して目標を掲げ、計画的に進めます。
 - ・エネルギーの効率的使用（地球温暖化防止）を推進します。
 - ・廃棄物の発生抑制に努めます。
 - ・地下水の適正利用に努めます
 - ・低炭素社会に貢献するべく、積極的にグリーン購入を推進します。
 - ・周辺地域の環境に配慮した、改善活動を行います。
3. 弊社に適用される全ての環境関連法規等並びに弊社が同意するその他の要求事項を遵守することを誓約します。
4. 弊社に課せられた課題を克服し、利益向上に繋がります。
5. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
6. 環境経営方針は、全従業員に周知します。
7. 環境経営レポートを作成し、一般に公表します。



FUJIMOTO



制定日：2005年5月10日
改定日：2022年9月10日

代表取締役
藤本 武洋

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

藤本工業株式会社
代表取締役社長 藤本 武洋

(2) 所在地

本社・新原工場 静岡県浜松市浜名区新原3453-1 (対象内)
根洗工場 静岡県浜松市中央区根洗町1418 (対象内)
東海工場 愛知県豊橋市二川町字東向山80 (対象外)

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役会長 藤本 利幸 TEL: 053-584-5833 fimt-3@car.ocn.ne.jp
担当者 取締役 藤本 悦子 TEL: 053-584-5833 fimt-3@car.ocn.ne.jp

(4) 事業内容

輸送用機器部品の表面加工 (ばり取り・羽布研磨・ショットブラスト・各種部品加工)

(5) 事業の規模

売上高 109,254 万円

	本社・新原工場	根洗工場	合計
従業員 名	25 名	34 名	59 名
延べ床面積 m ²	1374.36 m ²	1190.08 m ²	2564.44 m ²

(6) 事業年度

9 月 1 日 ~ 8 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

『サイト認証』

登録組織名: 藤本工業株式会社
対象事業所: 本社・新原工場
根洗工場

活動: 輸送用機器部品の表面加工 (ばり取り・羽布研磨・ショットブラスト・各種部品加工)

□事業の紹介

会社沿革

昭和42年04月	創業 浜松市浜北区貴布祢416-3
昭和52年04月	有限会社と改名
昭和58年02月	浜松市三方原町356-2に拠点を移管
平成09年03月	浜松市根洗町1418に拠点を移管
平成16年10月	浜松市浜北区新原3453-1に●本社・新原工場新設 羽布部門移管
平成18年08月	(株) ビー・エフ・フジモトに吸収合併及び社名を藤本工業株式会社に改名
令和02年09月	新社長に藤本武洋就任、前社長藤本利幸は会長として活動現在に至る

藤本工業(株)業務連絡会の様子 2023.10.7



コロナの影響で全体が集まっていた業務連絡会は3年ぶりとなりました。全スタッフが集合し、藤本工業(株)を取り巻く環境・主要取引先様の評価・藤本工業の取組み(ビジョンマップ、フジモトイズム、組織図、役割権限等)・各部門取組みの説明をした。日本一のバリ取り屋になるため一丸となり精進してまいります。



会長より各工場の【輝いたで賞】の表彰をしました。スタッフ内から投票で選ばれた3名です。

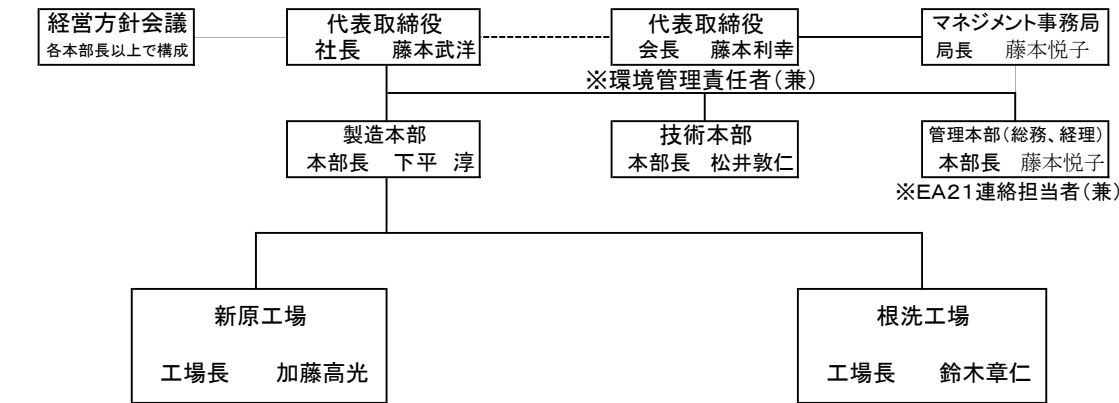
Off JTの様子 2024.7.5



業務連絡会での報告内容がより浸透するように、グループディスカッションを行い社員の意識が高まる良い機会となった。

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2024年10月28日



	役割・責任・権限
代表取締役 社長	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システム運用に必要な人材、設備、費用、時間等の経営資源準備及び提供 - 環境管理責任者の任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知 - 環境経営目標・計画書の確認及び承認 - 代表者による全体の評価と見直し、次年度への展開指示「5W2Hの観点より」 - 環境経営レポートの確認及び承認並びに顧客等への開示
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、運用、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ遵守一覧表の確認及び承認 - 環境経営目標・計画書を確認・見直し指示及び承認 - 環境活動の取組結果の確認及び代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認並びに見直し指示
マネジメント事務局	- 環境管理責任者の補佐及び各種帳票類の原案策定 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の策定 - 環境配慮活動「カーボンニュートラル、地域貢献含む」の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ遵守一覧表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ遵守一覧表に基づく遵守確認及び評価の実施 - 環境関連のコミュニケーション「内部・外部」の受付窓口 - 環境経営レポートの作成、承認済後の公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
経営方針会議	- 経営方針の見直し審議 - 経営目標・計画の実績確認及び評価並びに今後の経営是正審議
工場長	- 自本部門内における職制を通した環境経営方針の周知 - 自本部門内における職制を通した従業員に対する教育訓練の実施 - 自本部門内における関連する環境経営目標、計画の策定、実施及び達成状況の報告 - 自工場内における必要な手順書等の作成及び手順書等による教育・訓練の実施 - 自工場内における想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書等の作成 - 自工場内における試行・訓練の実施、結果記録の作成及び報告 - 自工場内における問題点の発見、是正改善処置、予防改善処置の実施及び報告
全従業員	- 環境経営方針の継続的な理解、認識と環境への取組の重要性の継続的な自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境配慮「地域貢献含む」活動へ参加

方針会議

月1回もしくは必要時に方針会議メンバーで社内で必要な重要案件を取り決めている。中長期的・長期的な視点で計画を立てている。



管理者ミーティング

月1回、社長、各本部長、各工場長で現状報告を行う。それにより意見をもらい各工場のスキルアップを目指している。環境のためにWEBミーティングを採用し、工場間の車移動を減らすようにした。



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	151,239	184,375	155,123
Scope1 (化石燃料)	kg-CO ₂	24,404	22,821	17,004
Scope2 (電力)	kg-CO ₂	126,835	161,554	138,119
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g	1,168	1,167	880
産業廃棄物排出量	K g	6,361	5,268	390
水使用量	m ³	258	733	733
※電力の二酸化炭素排出係数 (調整後)		0.388	0.388	0.388
※2021年度のデータは期初から期の途中まで		中部電力	中部電力	中部電力

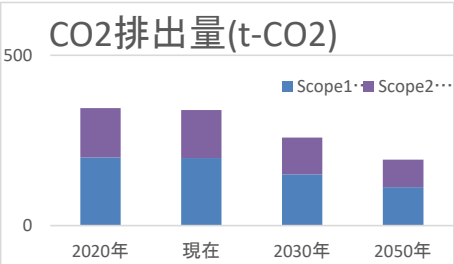
1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数 (特定排出者の温室効果ガス排出量算定用) 度実績 - 2023. 1. 24環境省・経済産業省公表の中部電力㈱の調整後の排出係数である0.388 (kg-CO₂/kWh) を使用した。 - 2021年

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位: t-CO₂

	Scope1 化石燃料	Scope2 電力	対 策
2020年	200	145	
現在	198	141	省エネ+ハイブリッド車+再エネ電力
2030年	150	108	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力
2050年	112	81	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力

※静岡GXサポートより



環境経営目標及びその実績

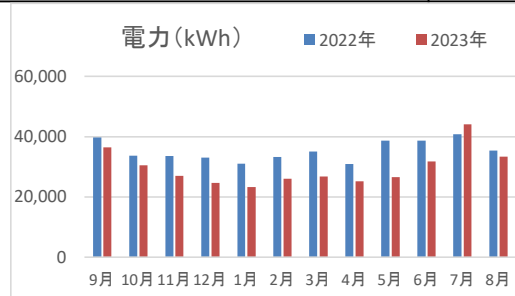
年 度 項 目		2022年度		2023年度		評 価	2024年度	2025年度
				上段:通期 中段:2023/9～2024/8				
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)		(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kWh	416,376	408,048	355,977	○	399,721	395,557	
	活動期間	97,438	95,489	73,994	○			
	基準年度比		98%	76%		96%	95%	
売上高原単位	kWh/万円	2.818	2.762	3.258	×	2.706	2.678	
	kg-CO2	161,554	158,323	138,119	○	155,092	153,476	
	活動期間	37,806	37,050	28,710	○			
売上高原単位	kg-CO2/万円	1.094	1.072	1.264	×	1.050	1.039	
	活動期間	20,836	20,419	15,893	○	20,211	20,003	
	基準年度比	1,894	1,856	1,771	○			
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	20,836	20,419	15,893	○	20,211	20,003	
	活動期間	1,894	1,856	1,771	○			
	基準年度比		98%	94%		97%	96%	
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	182,390	178,742	154,012	○	175,303	173,479
一般廃棄物の削減	kg	1,167	1,085	940	○	1,085	1,050	
	活動期間	260	242	215	○			
	基準年度比		93%	83%		93%	90%	
産業廃棄物の削減	kg	468	421	390	○	374	328	
	活動期間	0	0	0	○			
	基準年度比		0.9	83%		0.8	0.7	
水道水の削減	m ³	733	696	597		674	660	
	活動期間	190	181	142	○			
	基準年度比		95%	81%		92%	90%	
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み		行動目標(次項による)						
課題を解決しチャンスを活かす取組		行動目標(次項による)						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	夏は異常な気温の高さが続き工場内は厳しい環境となった。空調機器の使用は必須となり7月の使用は目標を超える数値となりました。今期に入り生産が減少したことにより累計での目標は達成となっている。来期はロボットによる生産数が伸びる予定なので使用量の傾向を追っていき目標値を超えないよう確認する。社内へエアコンをし無駄のない使用を促していく。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	
・生産方法の改善による時間短縮	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	



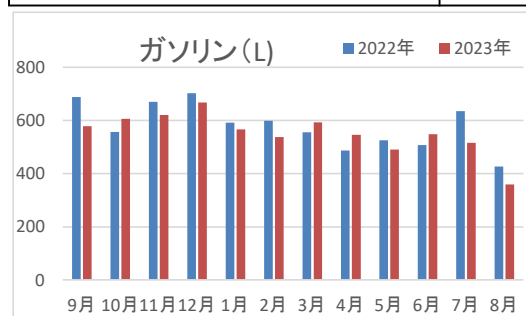
取組紹介欄

使用時は、月に1回程度エアコンのフィルターを綺麗にし、無駄な電力を消費しない様に努めています。



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	39,765	33,787	33,587	33,095	31,107	33,236	35,089	30,946	38,687	38,687	40,787	35,405
2023年	36,542	30,467	27,020	24,728	23,261	26,005	26,820	25,172	26,647	31,825	44,045	33,445

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	年間累計では目標達成はできた。来期もWEBによる会議に移行し工場間移動を減らすことでガソリンの使用量の削減を意識していきたい。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルート運航計画、実践	○	
・法的定期的車両整備の実施	○	



取組紹介欄

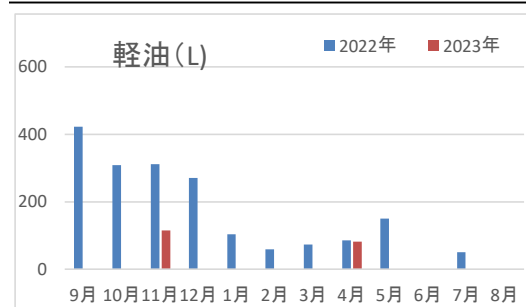
社用車エコ対応



アイドリングストップ



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	687	556	670	703	591	600	555	487	525	507	635	427
2023年	578	606	621	667	567	537	593	546	491	549	516	360



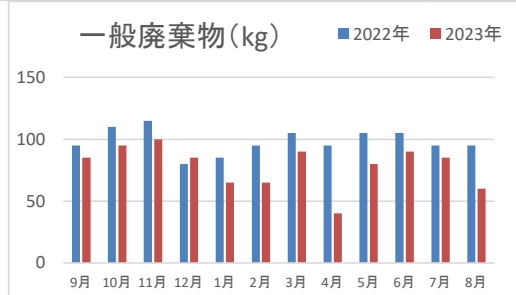
取組紹介欄

取組紹介欄

昨今の化石資源の高騰があり、自社便の廃止を決定した。
運送業者に委託しながらも配送ルートは都度見直しをし排出量の軽減に努めている。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	422	309	312	270	103	59	73	85	150	0	50	0
2023年	0	0	115	0	0	0	0	82	0	0	0	0

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	受領による電子化はだいぶ進んだため効果を感じる。来期以降弊社の発行する書類も電子化できるよう検討していきたい。また共有サーバー保存が定着している中、保管方法が社内サーバーのため緊急時を考えクラウド管理も検討していきたい。
・分別の徹底	○	
・コピー用紙の有効利用（メモ紙等）	○	
・ペーパーレス化の推進（電子媒体の活用）	○	

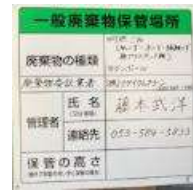


取組紹介欄

ゴミの分別

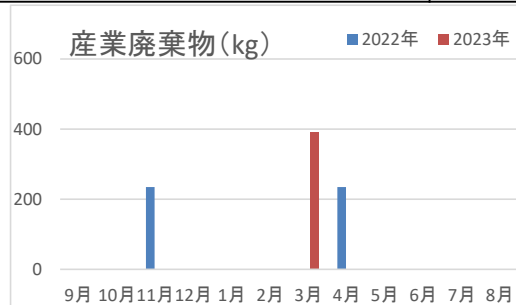


一般ゴミの収集場所及び表示



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	95	110	115	80	85	95	105	95	105	105	95	95
2023年	85	95	100	85	65	65	90	40	80	90	85	60

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	今期産業廃棄物の量はだいぶ抑えられたと思う。業者に回収の依頼は年1回のみ。来期は余剰な消耗品・備品の在庫を持たないようにし、劣化などで使用不可にならないようにする。在庫管理を強化し余分な購入品がないように心がけていく。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・廃棄素材別ボックスの設置	○	
・分別活動の徹底	○	

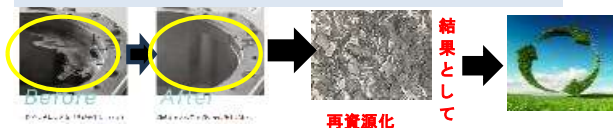


取組紹介欄



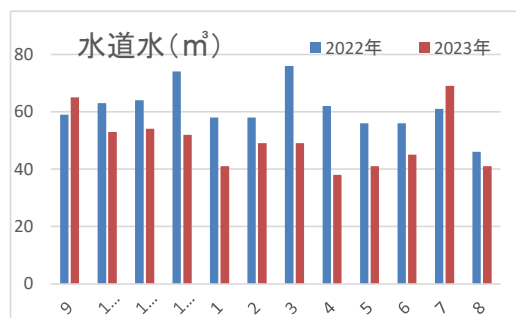
余剰在庫を持たないよう備品棚に区分けをし見やすくしたり、ラベリングをして3S活動をした。

弊社の本業であるバリエーション素材はADC12材がメインで、材料不良や削りカスはリサイクル性が高く、循環型社会へ貢献しております。



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	0	0	234	0	0	0	0	234	0	0	0	0
2023年	0	0	0	0	0	0	390	0	0	0	0	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	年度活動通して、ほぼ安定的な推移であった。来期も現状の取組み活動を行っていく。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・自動水栓取り付け	○	
・漏水点検	○	



取組紹介欄



節水の表示



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	59	63	64	74	58	58	76	62	56	56	61	46
2023年	65	53	54	52	41	49	49	38	41	45	69	41

環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良率低減	○	各工場で随時ミーティングをしてしっかり情報交換も行い、従業員全員が情報共有でき一丸となって取組することが出来た。来期も、継続的に活動して行く。
・地域貢献活動「花のリレープロジェクト等」へ	○	
・作業環境の改善（3S活動「整理、整頓、清掃」）	○	
・E A 2 1 の情報交換会議の実施（2回／年）	○	

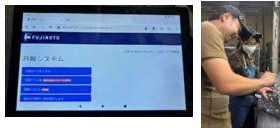
取組紹介欄

勤怠管理システム導入



全工場に勤怠管理システムを導入した。今までの紙媒体から電子化にすることでペーパーレス化を図り、集計が自動計算になり業務時間の短縮もできた。

日報システム導入



全工場に日報管理システムを導入した。今までの紙媒体から電子化にすることでペーパーレス化を図った。生産効率の見える化もできるようになり改善が必要な内容が明確になった。

各工場改善ミーティング



各工場の工場長・生産リーダー・品質リーダーを中心に改善内容、サイクルタイムなど随時ミーティングを行い生産・品質ともに安定を目指している。不良率低減するためにも継続的にミーティングを行っていく。

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	ビジネスマッチング等イベントへの参加も積極的に行った。また学生向け、企業向けの講話を依頼され登壇しおおいに弊社の紹介、バリ取り業の紹介をする機会をいただいた。また工場見学の依頼も増えPR効果は順調に進めている。
・企業PRによる顧客獲得	○	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	△	
・新規事業の継続的活動	○	
・働き方改革	○	

取組紹介欄

ビジネスマッチング2024

今年もたくさんの来場者とお話することができました。楽しみながら藤本工業のバリ取りを宣伝することができ有効なイベントとなりました。今回は新たなチャレンジとして根洗工場スタッフによるアテンドを行いました。現場から外へ出て、普段できない経験をし生き生きと活動してくれました。



ダイカスト協会様来社



浜名高校 卒業生と語る会



鹿玉中学校 職業講話



たくさんの方々に藤本工業のバリ取りを見学していただきました。

高校1年生に職業講話をしてきました。社長の熱い想いを皆さん熱心に聞いてくれていました。

中学1年生に藤本工業の仕事内容を紹介し働くことの魅力をお話してきました

各事業所の取組紹介

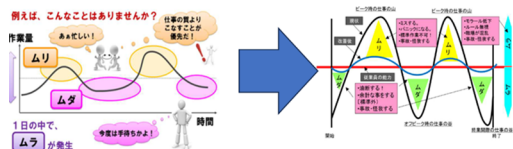
【 新原工場 】

社内の安全確認をし、危険箇所の改善を行った。新規の設備導入が決まっていることもあり大掛かりなレイアウト変更をした。作業環境が良くなるよう、壁の修復などスタッフにて行い現場スタッフ目線で改



【 根洗工場 】

根洗工場社員、社内協力メーカーへ、作業中に起こりうる「無理」と「無駄」の発生原因とそれによるリスクをわかりやすく工場長が教育をした。今後以降この教育が活き、不良が発生しないよう期待したい。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

遵守評価日： 2024年8月31日

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出	☀
騒音規制法	空気圧縮機、送風機の設置	☀
振動規制法	空気圧縮機の設置	☀
浄化槽法	浄化槽の使用	☀
消防法（浜松市火災予防条例）	火災報知の設置、設備の維持管理	☀
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の設置	☀
顧客要求事項	ISO取得「品質管理」・エコアクション21の維持管理	☀
プラスチック資源循環促進法	ISO取得「品質管理」・エコアクション21の維持管理 ゴミの分別（廃プラ） グリーン購入法の適合製品の購入	☀

遵守評価基準 ☀遵守活動を欲行い遵守 ☁遵守活動を行い遵守 ☁遵守活動があまり足りていなかった ☁活動せず不順守
○環境関連法規制等の遵守状況評価の結果、環境関連法規制等は遵守しています。
○違反、訴訟等も過去10年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

2023年度での、外部からの苦情・要望等は一切ありません。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023.11.13	■実施場所 本社工場
■参加者： 会長・管理本部長・藤本多恵子・加藤工場長・野田リーダー・貴之リーダー・西尾・松島・岡本・斎藤・村木・遠山・清家・長谷川・社内外注ハリマ工業12名	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 工場内レイアウトの変更、人の入れ替えがあったため、避難経路の再確認とショットブラスト機付近の火災を想定した消火訓練を行った。	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
避難経路移動にて添付資料4の柵が危険と指摘があったため即日撤去した。避難移動はスムーズに進み点呼まで問題なく行うことができた。ショット機、集塵機の火災はアルミニウムを含んでいるため水使用は粉塵爆発が起こる可能性があるため大変危険であることを教育した。ショット機付近の火災には化学消火器の使用が必須な為、設置場所の確認を全員で行った。	
■実施状況の様子	
添付資料1 避難経路	添付資料2 点呼
添付資料3 ショット機火災の教育	添付資料4 避難経路危険箇所改善

緊急事態の想定： 地震の発生	
■実施日： 2023.11.6	■実施場所 根洗工場
■参加者： 社長・製造本部長・技術本部長・工場長・杉石リーダー・田住リーダー・狩野・直人・東出・涼太・智子・仁藤・河合・堀野・美佳・有見・石野・山下・社内外注14名（グローバル等）	
■実施内容： 人の入れ替えがあったため避難経路の再確認と、人数が多いためスムーズな脱出ができるよう移動時間の計測を今回もおこなった。	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
人の入れ替えがあったがリーダーの呼びかけにて5分以内の移動・点呼を行うことができた。作業音＋耳栓で館内放送が聞こえにくいという声もありましたが、現状は周りの人のコミュニケーションで対応していく。以前誤報ベルでしたが、その時は即座に作業をとめ工場長の判断のもと訓練通りの避難行動ができたことがありました。過去の訓練の成果だと思いますので今後も訓練の重要性を理解していただき取り組みをしたいと思った	
■実施状況の様子	
添付資料1 避難経路	添付資料2 点呼

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年8月31日

従業員へのEA21周知は年々高まっており環境活動への協力が増してきているため目標値を上回することはほぼなかった。しかし、7月以降では異常な気温上昇で空調機器の利用が欠かせなくなる状況でした。一時的な上昇ではありましたが、目標値を超えてしまった。環境変動が大きな中でもできる改善を見つけて従業員への理解と協力をお願いし次年度の環境活動に活かしていきたい。カーボンニュートラル・SDGsへの取組が社会的課題となっている事を踏まえEA21を活用して、これからの課題に向けて全社あげて推進していく。

環境経営方針
環境経営目標・計画
実施体制他

☒ 変更なし
☒ 変更なし
☒ 変更なし

☐ 変更あり
☐ 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

根洗工場 床塗装 2024.8.11



作業現場の床ペンキ塗りをスタッフ総出で行った。環境が良くなりモチベーションが上がりそうです

花のリレープロジェクト 2024.4.7月



協力者のおかげでたくさんの草刈りができました。近隣住民・駅利用者の喜びにつながると嬉しいです

地元中学校 職業体験2024.9.19.20



元気で礼儀正しい地元中学生を2日間受入しました。この経験が彼らの将来に少しでも力になることを願います。若い力を応援します！

ロボット講習



ロボットを扱える人材を増やし、作業環境を良くし、生産効率を上げていこう目指していく！！

藤本工業BBQ 2024.6.29



弊社従業員と協力メーカー様従業員でバーベキューをし、楽しみながらコミュニケーションをとる場となりとても有意義な1日でした

大人力Vol2 2024.9.19.20



2回目の大人力！従業員家族・関係者ご家族・友人・近隣の方をご招待し食事提供、ロボット体験、ミニゲームを楽しんでもらいながら『仕事の魅力を感じてもらおう』をコンセプトに継続的に開催していきたい。

編集後記

今期はバリ取りの認知度向上を目標にたくさんの広報活動をしてきました。広報活動による効果は少しずつですが感じております。認知度が向上し生産が増えてくることを望みますがそれと共に環境活動にも注目し、環境に配慮した生産活動を心がけていきたいとレポートを作成しながら感じました。